

# インスリンだけじゃない！ 糖尿病の注射薬

昭和大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科  
井上 彩

# 糖尿病の薬は色々な種類があります

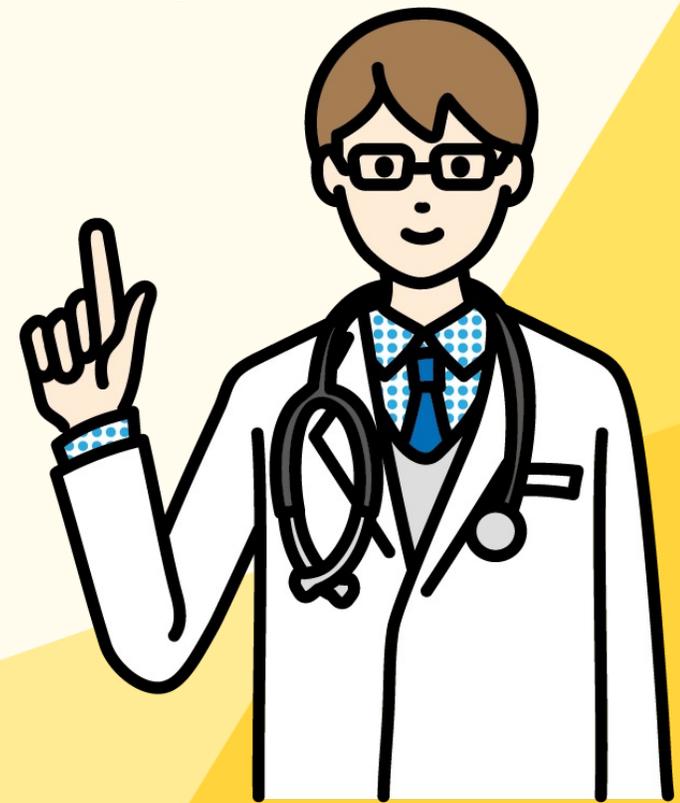
## 飲み薬

- ・ ビグアナイド薬
- ・ DPP-4阻害薬
- ・ SGLT-2阻害薬
- ・ GLP-1受容体作動薬
- ・ SU薬
- ・ グリニド薬
- ・  $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬
- ・ チアゾリジン薬
- ・ イメグリミン

## 注射薬

- ・ インスリン
- ・ GLP-1受容体作動薬
- ・ GIP/GLP-1受容体作動薬

今回は糖尿病の注射薬についてご紹介します。



# GLP-1受容体作動薬

- 一般名：デュラグルチド、セマグルチド、リラグルチド等
- 膵臓にあるGLP-1受容体に働きかけて、インスリンの分泌を促進する薬です。
- 胃排泄遅延・食欲抑制効果により体重への影響も期待できます。
- 1日1回の注射薬だけでなく、週1回の注射薬や1日1回の飲み薬も登場しています。
- 吐き気・下痢・便秘などの消化管症状が出る場合があります。

# GIP/GLP-1受容体作動薬

- 一般名：チルゼパチド
- GLP-1受容体だけでなくGIP受容体にも作用して、インスリンの分泌を促進する薬です。
- 胃排泄遅延・食欲抑制効果により、より強い体重への影響が期待できます。
- 週に1回注射する薬です。
- 吐き気・下痢・便秘などの消化器症状が出ることがあります。

# インスリン

- 一般名：インスリンリスプロ、インスリンアスパルト、インスリングルルギン、インスリンデグルデク等
- インスリンは血糖を下げる働きのあるホルモンです。膵臓から分泌されますが、作用不足の状態である場合には注射をして補います。
- 作用時間は3~5時間といった短いものから、24時間といった長いものまでさまざまであり、患者さんの血糖推移のパターンに合わせて薬剤の選択を行います。

# 最近のトピック

週1回製剤のインスリンとしてインスリン イコデクが開発されたと発表されました。

使用できるようになれば、自力で注射困難な患者さんも訪問診療や週1回の病院受診などでインスリンを投与することが可能になり、さらに治療の選択肢が広がることが期待されます。



# 最後に

- 糖尿病の治療薬は、内服薬・注射薬ともに多様化してきました。
- 自分の病態や生活スタイルにあった治療薬を選択することが大切です。
- 薬について分からないことや困ったことがあれば、医療スタッフに相談してください。